

# 北本市国民健康保険事業特別会計 将来推計 (R7年当初予算試算)

## ※改定案 2 による試算

【参考】令和6年度当初予算  
※概数で積上げのため誤差があります。

保険給付費 (療養諸費等)	普通交付金
保健事業費 (疾病予防)	特別交付金等
その他支出	繰入金、延滞金等
	保険税滞納繰越分 2,900万円
その他 4,600万円	特別交付金のうち 納付金への充当額 7,700万円
	財政安定化支援 2,300万円
	保険税 現年課税分 11億1,100万円
	保険基盤 2億3,400万円
	不足額 2億2,000万円
計	16億9,400万円

令和6年度予算執行見込 (9月)  
※概数で積上げのため誤差があります。

保険給付費 (療養諸費等)	普通交付金
保健事業費 (疾病予防)	特別交付金等
その他支出	繰入金、延滞金等
	保険税滞納繰越分 2,900万円
4,600万円	特別交付金のうち 納付金への充当額 7,700万円
	財政安定化支援 2,300万円
	保険税 現年課税分 11億1,100万円
	保険基盤 2億3,400万円
	前年度繰越金 1億300万円
	不足額 1億1,700万円
計	16億9,400万円

税率	医療分		支援分		介護分		一人当たり 保険税額
	所得割	均等割	所得割	均等割	所得割	均等割	
R6年度	7.30%	29,900円	2.90%	10,200円	2.20%	14,700円	96,609円
改定税率案 2	7.20%	37,500円	2.80%	13,800円	2.20%	16,100円	107,214円
差	-0.10%	7,600円	-0.10%	3,600円	0.00%	1,400円	-

【参考】

R6市町村標準保険税率	7.14%	42,362円	2.84%	16,422円	2.34%	16,560円	-
-------------	-------	---------	-------	---------	-------	---------	---

令和7年度

その他支出 3,900万円	特別交付金のうち 納付金への充当額 7,100万円
	財政安定化支援 2,400万円
	保険税滞納繰越分 2,500万円
【仮置き】 納付金 16億4,800万円	保険税 現年課税分 【改定後】 11億8,600万円
※前年度と同額で仮置き ※秋の試算や本算定結果を今 後反映予定	保険基盤【改定後】 2億6,900万円
	不足額 1億1,200万円
計	16億8,700万円

令和8年度

その他支出 3,800万円	特別交付金のうち 納付金への充当額 7,100万円
	財政安定化支援 2,300万円
	保険税 現年課税分 【改定後】 11億7,200万円
	保険基盤【改定後】 2億6,600万円
	不足額 1億7,600万円
計	17億800万円

令和9年度

その他支出 3,700万円	特別交付金のうち 納付金への充当額 7,100万円
	財政安定化支援 2,200万円
	保険税 現年課税分 【改定後】 11億5,900万円
	保険基盤【改定後】 2億6,300万円
	不足額 2億1,400万円
計	17億2,900万円

※基金繰入 2億2,000万円を充当

※基金繰入 1億1,700万円を充当

※基金繰入 1億1,200万円を充当

※基金繰入 1億7,600万円を充当

※基金繰入 200万円を充当  
実際の不足額 2億1,200万円

基金繰入後の基金残高 (当初見込)

1億8,000万円
-----------

基金繰入後の基金残高 (執行見込)

2億9,000万円
-----------

基金繰入後の基金残高 (見込)

1億7,800万円
-----------

基金繰入後の基金残高 (見込)

200万円
-------

基金繰入後の基金残高 (見込)

0万円
-----

### ※試算条件

- ・令和6年度は当初予算額を基に、9月時点の執行見込額を概算で示し、年度末の基金残高見込額を示すものです。
- ・被保険者数を毎年1.1%減少で見込んでいます。(埼玉県運営方針(第3期)のR4→R11の平均減少率による。)
- ・令和7年度は当初予算見積額を基とし、令和8年度以降の「その他支出」、「財政安定化支援」、「保険税現年課税分」、「保険基盤」は、前述の減少率1.1%を用いて算出しています。
- ・納付金は令和7年度の仮置き値を基に、令和8年度以降の納付金の一人当たりの伸び率を、医療分+2.342%、支援分+4.279%、介護分-2.771%として算出しています。(納付金実績平均伸び率R4→R7より)
- ・保険基盤は産前産後保険税減額分を含めず算出しています。

### 【検証】

改定案 2 の場合、令和7年度当初予算は保険税・基盤安定の計が現行税率に比べ、約1億2,500万円の増収、基金残高1億7,800万円の見込となるほか、令和8年度の財源不足の解消と当初予算の編成も可能な見込み。